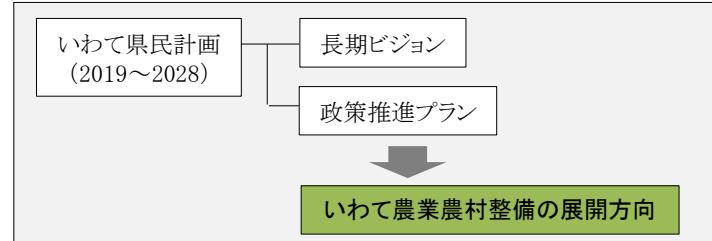


「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」の概要

「いわて農業農村整備の展開方向」は、本県の農業農村整備の展開方向を中長期的な視点で示すもので、次のような役割を担っています。

- 「いわて県民計画(2019～2028)」に掲げる農業部門の政策目標の達成に向け、農業農村整備分野の施策の展開方向を明らかにしたものと(4年毎に見直し)
- 市町村や土地改良区等の関係団体が諸計画を策定する際、参考にしていただくことを通じ県施策との一体的な展開を期待
- 持続的に発展できる農業と魅力あふれる農村社会の形成に向け、農業者や地域の方々の自発的な取組を一層促進



「いわて農業農村整備の展開方向」の重点施策

産業政策

地域政策

重点施策Ⅰ： 地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現

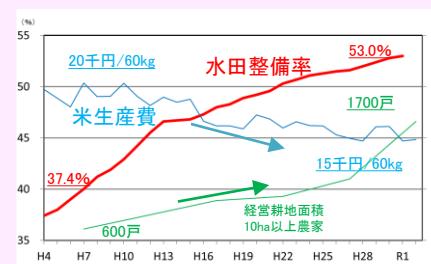
【展開方向】

- ① 水田の大区画化と汎用化の推進
- ② ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進
- ③ 特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進
- ④ 中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備の推進

【主な指標】

水田整備面積(累計) [2021] 15,814ha → [2026]17,300ha

【水田整備率と米の生産費等】



【ほ場整備により大区画化された水田】



【揚水機場の基地局、GNSSレベラーによる均平作業】



産業政策を下支え

重点施策Ⅱ： 農業水利施設の適切な保全管理の推進と管理体制の充実

【展開方向】

- ① 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保全管理の推進
- ② 土地改良区の運営基盤強化に向けた取組の促進

【主な指標】

農業用排水路等の長寿命化対策着手施設数(累計) [2021] 96施設 → [2026] 111施設

【パイプラインの突発事故への対応状況】



【耐用年数を超過し側壁が傾いた水路】



【パイプラインの突発事故による破損・漏水】



地域政策を下支え

重点施策Ⅲ： 快適で活力のある農村づくり

【展開方向】

- ① 多様な主体の参画による農地・農業用水など地域資源の保全
- ② 農道や農業集落排水施設の保安全管理による快適な生活環境の維持

【主な指標】

地域共同活動による農地等の保安全管理への参加人数 [2021] 84,402人 → [2026] 85,900人

【農業集落排水施設の汚泥引抜ポンプ】



【地域共同による草刈活動】



【女性グループによる植栽活動】



【農道橋の劣化調査】



重点施策Ⅳ： 農業水利施設の防災・減災対策

【展開方向】

- ① 自然災害の未然防止に向けた計画的な防災対策の推進
- ② 農村地域の防災減災対策の強化に向けた取組の促進

【主な指標】

農業用ため池の機能診断(耐震性評価)実施箇所数 [2021]113箇所 → [2026] 163箇所

【対策が必要なため池】



【田んぼダムの実証実験】



【農業用ダムの洪水調節のイメージ】



【ため池の対策工事状況】

